

研究課題名：MICS-CABG における Hybrid Coronary Revascularization の当施設の現状と CABG 適応に与える影響

所属(診療科)：心臓血管外科

研究責任者(職名)：安達晃一（医師）

研究期間：2017 年 10 月 1 日～2023 年 4 月 27 日

研究目的と意義：左小開胸アプローチによる冠動脈バイパス術（MICS-CABG）は、従来の正中アプローチと比較して循環器内科の治療方針として選択される可能性が高まる。PCI とのハイブリッド治療が可能になれば、より患者の冠動脈病変に適した治療が選択されるようになると思われる。

MICS-CABG 導入により、ハートチーム内で病変に合わせた適切な議論が行なわれると同時に、CABG 選択のハードルが下がっている。HCR とすることで最小の侵襲で CABG が行なわれており、CABG における 1 枝再建が単独 CABG 全体の 22%（25/114）に増えている。MICS-CABG との HCR 導入により最低侵襲の 1 枝再建症例が増加する。

研究内容：

- 対象となる患者さん： 横須賀市立うわまち病院心臓血管外科で冠動脈バイパス術を受けた患者さん
- 利用する情報/資料： カルテ内容・手術記録
- 研究方法： 後ろ向き観察研究

問い合わせ先：以下

【研究担当者】

氏名： 安達晃一

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630 FAX：046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）